

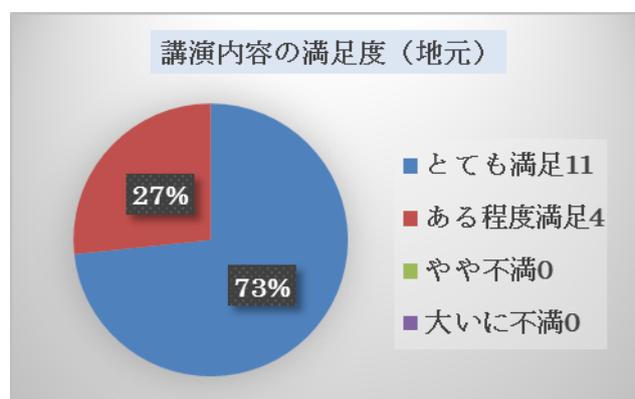
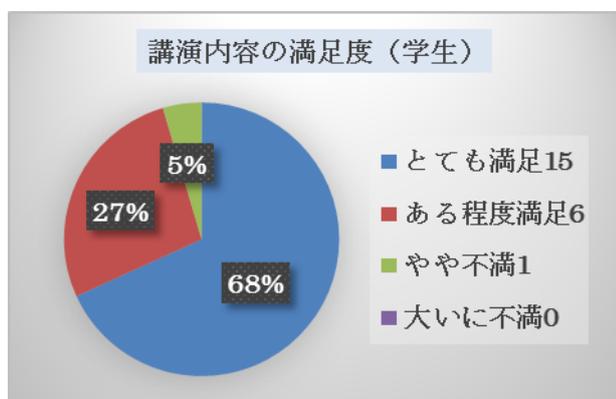
「学生とシニアの対話 in 広島 2014」 事後アンケートまとめ

2014/12/19 若杉

* 参加者(アンケート総数 37)

	学生(22)						地元(15)	計(学生)
	1年	2年	3年	4年	5年	未記入		
就職	2	5	3		5		15	
進学	1	1	3		1		6	
未定			1				1	

(1) 講演の内容は満足のものでしたか？その理由は？



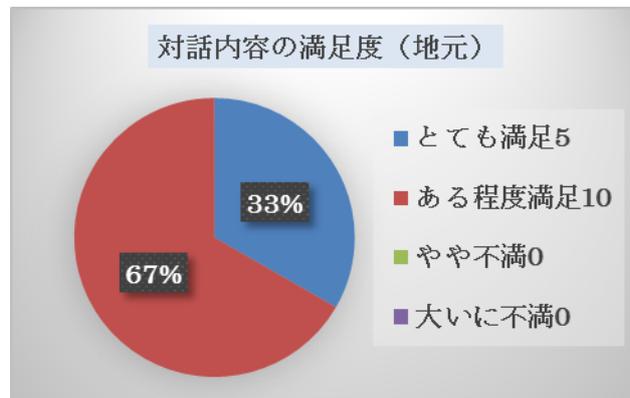
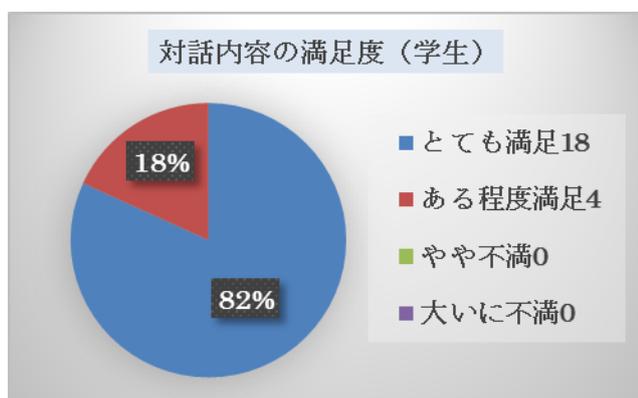
(学生)・わかりやすい内容でした。知らないことを多く学べた。

- ・専門家なので、とても納得のいく内容だった。原子力についての知識が深まった。原子力の実用性を学んだ。
- ・原子力や放射線・放射能について知識を得ることができた。
- ・去年を含めて、原子力について賛成する人への反対意見がどんな感じか知ることができた。
- ・他国の原子力の現状がよく分かった。さまざまな話が聞けた。
- ・ちょっと長いのでやや不満だ。

(地元)・わかりやすかった。具体的で理解しやすかった。身近なテーマである。

- ・全般的知識を得て、原子力発電の輪郭が分かった。
- ・原子力発電が必要なことがよくわかり、自分で考えようと思いました。

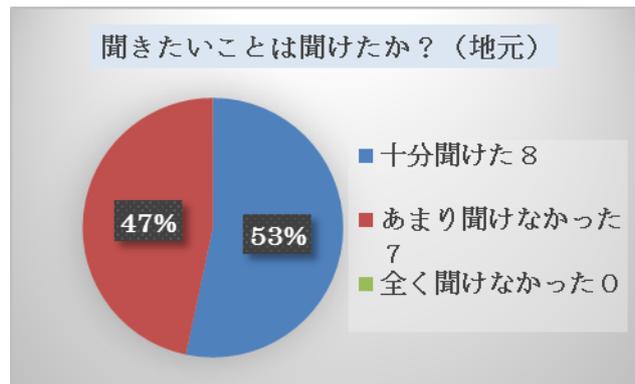
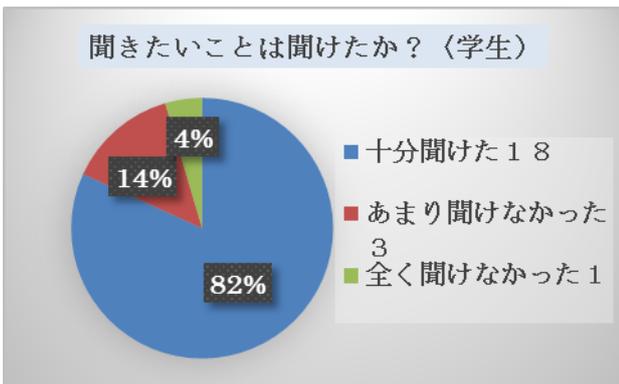
(2) 対話の内容は満足のものでしたか？その理由は？



- (学生)・質問に対する的確な返答があった。とても有益だった。来てよかったと思った。
- ・シニアの説明がわかりやすかった。経験と知識が豊富な方々と話ができとても楽しかった。
 - ・話の一つ一つが深く、わかりやすかった。
 - ・討論することで、自分が原子力において考えたことがないこともいろいろ知れて満足した。
 - ・間違った知識をなくすことができた。
 - ・いろいろな年齢の人が入り混じっていたが、和やかな雰囲気はずっと続いていたので。
 - ・まとめ役だったので、聞きたいことが聞けなかった。
 - ・発電所(原発ではないが)の近くに住む人の話を聞けたから。

- (地元)・気になったことが聞けた。
- ・結論をわかりやすく説明している。先生方がよく答えてくれたから。
 - ・原子力発電の全般的知識を得ることができた。
 - ・いろいろな意見を持っており、これから期待できると思いました。
 - ・マスコミの発表に疑問を感じた生徒が多かった。学生の考えを垣間見ることができたから。
 - ・各自がよく考えを発表してくれていたと思う。

(3) 事前に聞きたいと思っていたことは聞けましたか？

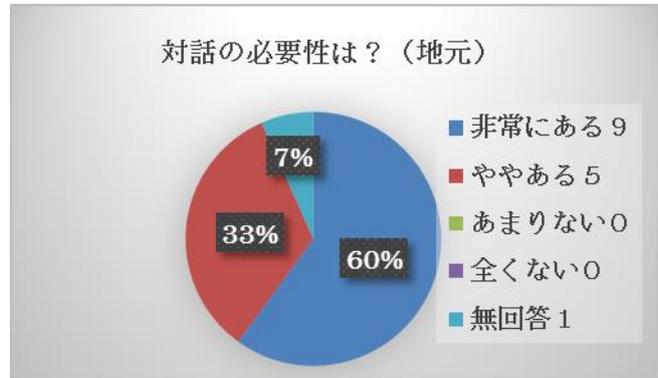
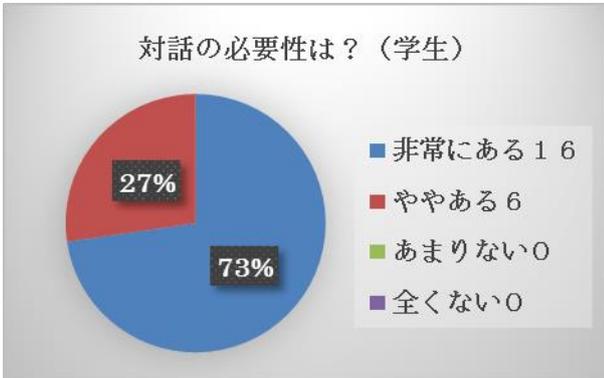


(4) 今回の対話で得られたことは何ですか？

- (学生)・「国民の意識を全体的に高め、原発の可能性を高め、より良い国へと導いていく必要がある」という自身の意識の変化が得られた。原子力発電所はなくてはならない。
- ・正しい知識。原子力の知識、政治(エネルギー)。原子力の安全性について。原子力発電のこと。原発は必要。原子力の大切さ。現在のエネルギー問題。
 - ・放射線は体に良い。
 - ・正しい情報を得ようとする心と、それを生かす心。
 - ・原子力発電はルール通りに使えば安全だが、少しのミスで大事故になること。
 - ・調べる必要。いろんな人の意見。
 - ・原発反対派の人となぜ話し合わないのか→結局、好き嫌いの問題。
 - ・エネルギーについてもっと考えを深めないといけないと思った。
- (地元)・正しい知識が必要であること。
- ・自然エネルギーについて。
 - ・原子力、放射能が身近に感じられてよかった。
 - ・地域の参加者の傾向(方向性、考え方)。

- ・自分たちの世代との考え方がいろいろあると思いました。
- ・自由な考えを持つこと。
- ・原子力エネルギーの重要性をますます感じた。今後のエネルギー対策。
- ・対話の重要性。

(5)「学生とシニアの対話」の必要性についてどのように感じますか？その理由は？



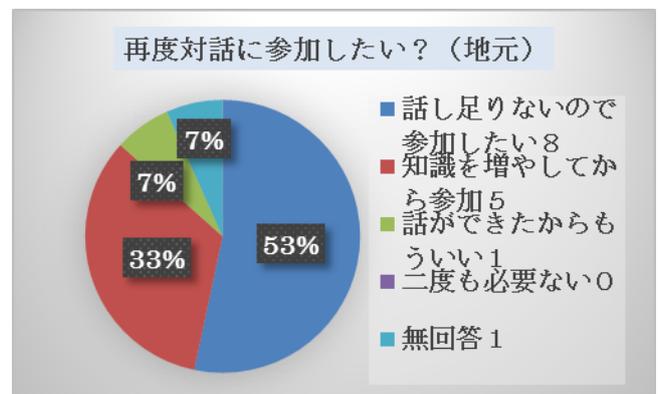
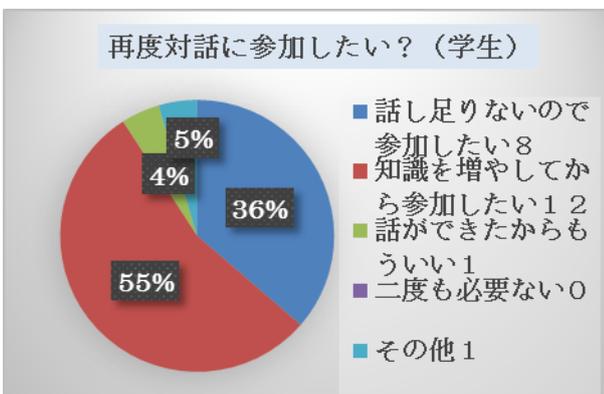
(学生)・このような機会がなければ、原発について詳しく知ることはないと思う。

- ・世代ごとに考えが違うから、思想の交流としてよいから。いろんな年齢層と対話する機会があまりないため。
- ・自分の知らないことは、知ってる人に説明してもらおうのがベストだと思うから。
- ・次の世代を担う人に伝えなければならない。
- ・自分たちの将来を考える上での非常に良い糧となる。
- ・島の人たちと話す機会ができる。
- ・専門家と話せる機会はほとんどないから。貴重な体験だから。
- ・同世代の人同士だと意見が偏りが出そうだから。年齢の違う人の意見を聞くチャンス。
- ・学生がわからないことがいっぱいあるし、シニアも新しい案を聞くことができるかも知れない。

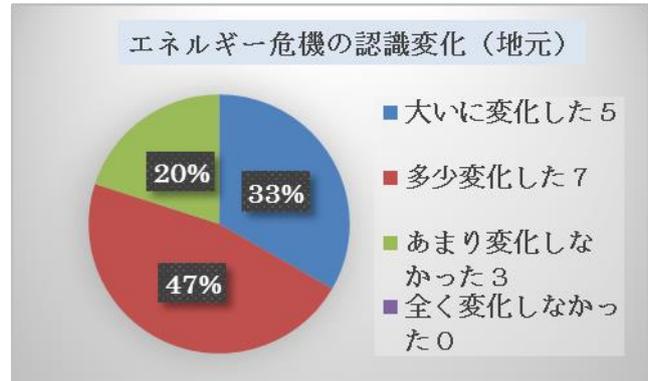
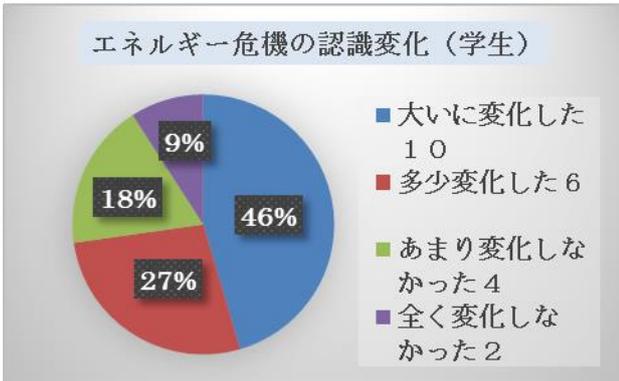
(地元)・学生が真剣に討論している。

- ・学生の考えが少しわかった。若人の考え方(今時)を知ることができる。若い人の意見を聞く機会がないのでよかった。
- ・いろんな世代の意見を聞けること。
- ・根本は同じかも知れないが、着眼、時代の差(育った背景、環境)・・・を認識できる。
- ・知識が豊かである。

(6) 今後、機会があれば再度シニアとの対話に参加したいと思いますか？



(7) エネルギー危機に対する認識に変化はありましたか？その理由は？



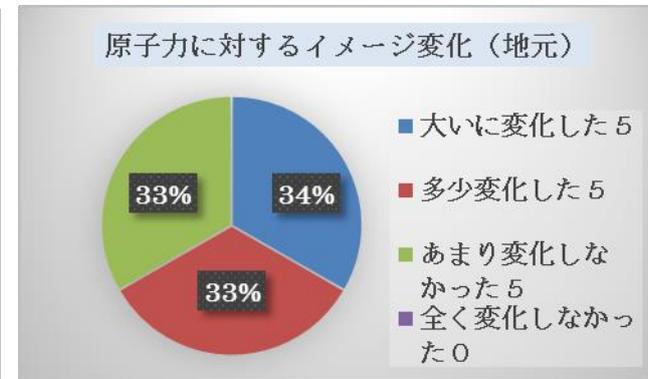
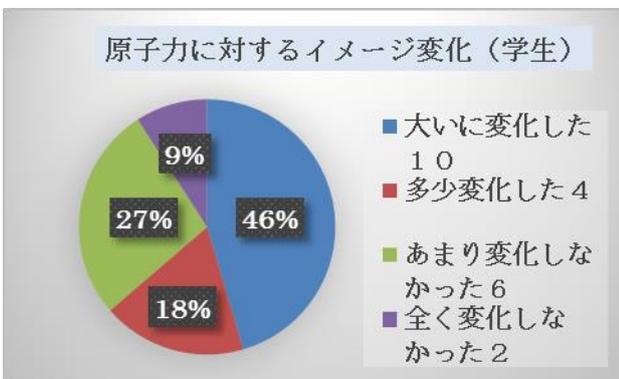
(学生)・今まで無知だったから(大いに变化した)。エネルギーには限りがあるから。原子力は大切だと思った。

- ・少しでも節電をしなければならない。エネルギーはもっとも大切にしないといけないと思った。
- ・数値的に知れたので、実感がわいた。
- ・今回の討論会で、人類はもっと本気でエネルギー問題を考えないといけないと思った。
- ・そもそもエネルギー危機自体をあまりわかってなかったもので、大いに勉強になった。
- ・授業の内容に酷似しているところがあった。卒研でエネルギー問題に関して調べていたから。
- ・去年参加した時点で大体(認識が)变化したから。もともと思っていたイメージに近かったので。

(地元)・すでに知っていることもあったから。原発再稼働を認識しているので(あまり変化しなかった)。

- ・従来から原子力のリスクと必要性は感じていた。
- ・不自由なく利用していたが、原子力発電がないと日本は成り立たないと思う。

(8) 原子力に対するイメージに変化はありましたか？その理由は？



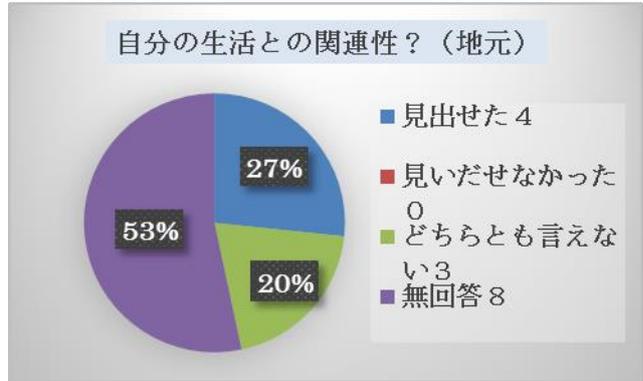
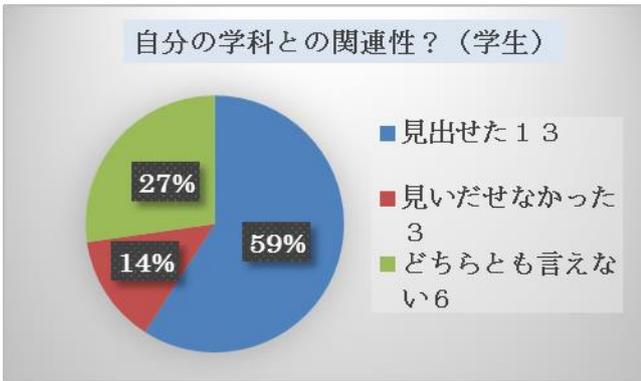
(学生)・ほかの発電との生産コストや環境コストを見て。とても危ないイメージしかなかった(大いに变化した)。

- ・今まで無知だったから。きちんと情報を知ることができたから。そこまで危険ではない(大いに变化した)。
- ・原発の安全基準が世界トップレベルになっていると知ったから。
- ・もともと原子力はあるべきと考えていて、ますます必要だと思った。安全性が高いことが分かった(多少变化した)。
- ・原発は必要だと思っていたから。原子力について悪い考えを持っていなかったため(あまり変化しなかった)。
- ・もともと思っていたイメージに近かったので。

(地元)・TVで悪い見方ばかり放送していたように思い、考え直すことができました(大いに变化した)。

- ・自分の思っていたことと同じだから。化学系の大学卒業で、原子力の有効利用は賛成(あまり変化しなかった)。

(9) 今回の対話で自分の学科(地域の方は生活)との関連性を見出すことができましたか?その理由は?



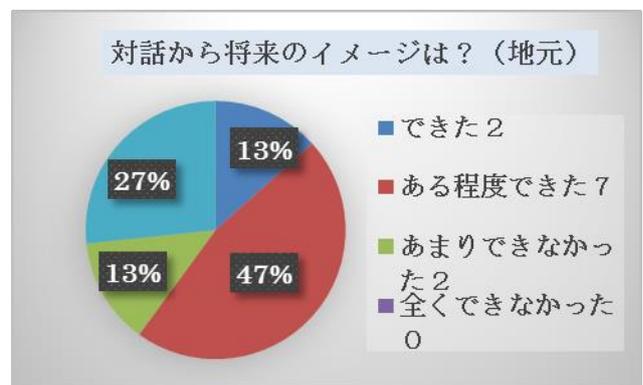
(学生)・社会的に必要なテーマであるから(学科に関係なく)。C 科は電力会社への就職も可能なため。原子力などのプラントの一部が船と似ているから(見出せた)。

- ・自分の卒論の内容と関連していたから。電力について一緒に考えられた。生活する上で必要だから。
- ・海外から石油を輸送するのは船だから。
- ・就職などについてまだわからないから。自分の将来はどうなるかわからないので、役に立つか経たないかはわからない(どちらともいえない)。
- ・流通と直接関係ないが、地球温暖化では関係がある。

(地元)・地球環境への影響は大きい(見いだせた)。

- ・生活には現在特別な関係はないから。方向性に迷いはないが、最終目標についてはわからなかった(どちらともいえない)。

(10) 対話の内容から将来のイメージができましたか?その理由は?



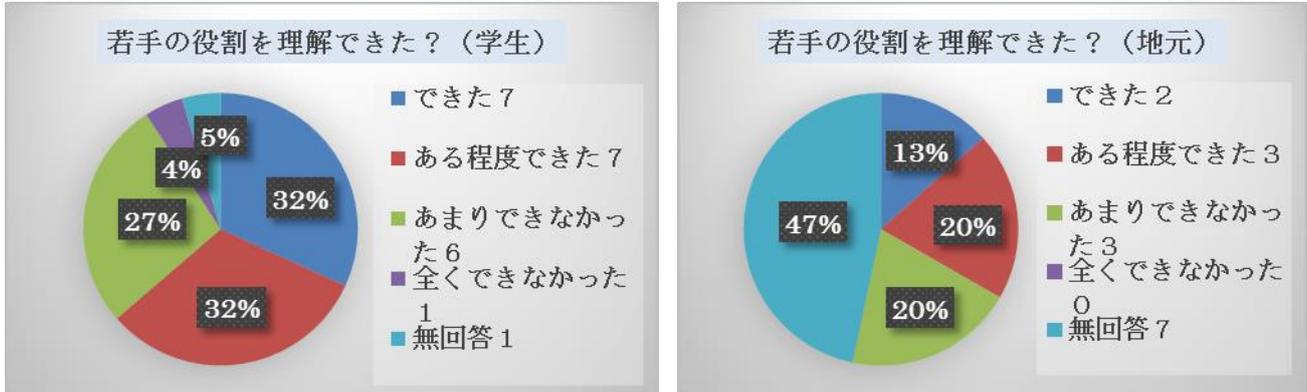
(学生)・どうしたら世の中がよくなるか考えたから(できた)。

- ・一家に一台の太陽光発電ができて、海にはたくさんの風力発電があると思った(できた)
- ・生まれた時からいろいろそろっている私たちの世代は、電気についてあまり意識したことがなかったので、まず一人一人が意識することが大切だと思った。エネルギー関係に就職したいから(ある程度できた)。
- ・エネルギー危機(石油不足)の日本が原子力にたよりそうに思えたから(ある程度できた)。
- ・いろいろな人の意見があり、住民の方の心情が少し理解できた。
- ・まだわからないことがあるから。流通と直接の関係がほとんどないから。将来のイメージはあまり意識していなかった(あまりできなかった)。

(地元)・エネルギー資源に対する知識が増えたから(できた)。

- ・原子力の必要性を強く感じている。若い学生にいろいろなことを考えてほしい(ある程度できた)。
- ・(ある程度できた)が、ここに参加した人たちのみなのが残念。
- ・不確定要素が多く明確にはならなかった(あまりできなかった)。

(11)対話の中でシニアが思う若手の役割を理解できましたか？またその理由は？



(学生)・受け継いだ知識をもって社会に貢献しようと考えた。これからの世界を作っていくから(できた)。

- ・これからの時代が本当にエネルギーを考えないといけないので、僕たちが原子力のいいところ悪いところを知ることは大切だと思った。将来やらなければならないことがある。シニアの皆さんが若手に期待している。日本の現状が理解できた。今まで保ってきた日本を守る(できた)。
- ・生まれたときからいろいろそろっている私たちの世代は電気についてあまり意識したことがなかったので、まず一人一人が意識することが大切だと思った(ある程度できた)。
- ・若手の担う役割の重要性を何度も説いていたから(ある程度できた)。
- ・イメージはできた(若手の役割)。しかし、自分がそのために何をすべきなのかはわからない。
- ・若手について話をしたわけではなかったから。何をすればいいのかわからない(あまりできなかった)。
- ・まとめ役だったため(全くできなかった)。

(地元)・わかりやすい説明があったため。原子力の問題点を真剣に討論している(できた)。

- ・自分の考えを変えることができる(ある程度できた)。
- ・もう少し積極的な若手の発言があった方がよかった(あまりできなかった)。

(12)自分が思っていた若手の役割(地域の方はご自分の考え)とシニアの考えは違いましたか？どのような違いがありましたか？また、シニアの考えを聞くことで、自分の考えに変化はありましたか？できるだけ詳しくお答えください。

(学生)・意外に原子力について悪く思っていないことに驚いた。

- ・シニアの考えは、こんなところに目をつけるのかというものがあつた。レベルの地祇がわかつた。
- ・自分は憶測だけで考えていたが、シニアはしっかりとした根拠を持って考えていた。シニアとの対話で自分の考えの基盤に厚みが増した気がした。
- ・よくわからないが、自分たちもシニアの人も考えることは似てるかも。
- ・変化はない。特にない。

(地元)・問題点を理解しようとしている点は共通している。だいたい同じだと思う。

- ・シニアは丁寧な説明をされ、概ね理解できた。
- ・もっと多様な意見を出してほしかった。

(13)本企画を通して全体の感想・意見などがあれば自由に書いてください。

(学生)・面白かった。ためになりました。勉強になった。また参加したい。来年も参加したい。すばらしい企画でした。

- ・とてもよかったです。原子力発電所についてちょっとでも話せる、わかるようになりました。
- ・原子力はとても危険で、怖いイメージを持っていたが、きちんと知識を持った上で取り扱うことができれば、一番いいエネルギーなんだということがわかった。
- ・わざわざ遠いところから来てもらって教えてもらったので、しっかり覚えておきたい。
- ・もっと下の学年から来て考えるようにすればよいと思った。5年で来て今後の参考にもあまりできないため。
- ・加湿器を置くべき。

(地元)・参加して発言もして自分の考えを確認できたことはよかった。

- ・シニアや地域の方と学生でのフォーラムは非常に良い取り組みであると思う。今後もこのような企画があれば参加したいと思っています。
- ・日本全体でもう少し原子力について話したら、原子力の知識が深まればよいと思う。
- ・企画はよいと思います。これからも積極的に取り組んで下さい。
- ・講師の方がわかりやすく説明してくれた。

アンケートの結果に関する若杉感想

全体を通して感じたことを下記します。

1. 講演・対話内容ともに参加者のほとんど全員が満足している。特に地元の方々が学生と同席して対話することに好感をもっているように見えた。
2. 対話で得られたこととして、参加者のほとんどはエネルギー・原子力の実情を理解したとしているが、地元の中には“地域の方の考え方が分かった”と回答した人もいた。
3. 対話の必要性をほとんど全員が認めている。学生は、異世代の人や島の人と対話してよかったとし、地元の方は学生の真剣な議論を見たことに言及している。
4. 対話会に再度参加したいかの質問に対しては、学生の半数以上がもっと知識を増やしてから参加したいとしているが、地元の半数以上が“まだ話し足りないので再度参加したい”と回答したことは意外であった。
5. エネルギー危機や原子力のイメージ変化に関する質問に対しては、ほぼ予想通りの回答があり、もともとと思っていたからやっていたことが確信に変わった等ばらつきがある。
6. 学科／生活との関連性、将来のイメージ、若手の役割の質問は、少し難しかったかと思われ、的外れの回答が多く見られた。学生に対してはもう少し具体的な質問にすることや、地元の方々に対しては質問そのものの必要性を再考すべきかと思う。
7. 全体を通して、対話会が参加者に歓迎され、有効に機能していると感じ、うれしく思った。特に地元の方々が学生の活動に好意を寄せ、このような対話会の企画に多くの期待を寄せていることがわかった。

以上